



# 宝塚第一中学校の風

～ みんなでつくる みんなの学校 一中 ～

令和2年(2020年)7月31日 発行

## やっと来た“夏休み！”さあ何する？

「感染症対策」も、しっかりと…。

【校長：田川隆司】

6月の「学校再開」から2ヶ月、やっと「夏休み」に入ります。

「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のための休校措置が解消されたものの、「学力の保障」という大きな課題に対し、宝塚市では夏季休業の短縮に踏み切りました。しかし、中学生にとって「夏休み」は、学習であれ部活動であれ、友だちと遊ぶことであり、自らの生活を計画し、様々な課題に向き合うことができる貴重な時間。そして、何より家族（遠方の親戚等を含む）との大切な時間でもあったはず。



もともとは、商家に奉公する人たちへの「藪入り」という行事が明治時代以降「盆と正月」に定着してきたもの。

また、時代を経ても学校に冷房施設などなく、猛暑の中での学習環境に適していないからとも…。だからでは無いものの、昭和の時代は、朝早く起きてラジオ体操に通ったり、涼しい間に勉強したり、涼を求めて「図書館」などで学習したりしたものです。家族で海や山に遊びに出かけ、故郷への「墓参り」や自然豊かな田舎での体験など誰もが想像する「夏休み」のイメージ。そんな時代も過去になり、宝塚市では、阪神間でかなり早くから整っていた空調設備も今や全国に普及し、各学校の空調設備がしっかりと進む中、教室は確かに学習しやすい場所になりました。

しかしながら、今まで長期の「夏休み」は、様々な「自主活動」の良い機会としてとらえられ、普段、学校ではなかなか体験しにくい活動や受け身で教えられるのではなく、じっくりと自らの疑問や研究等の課題に打ち込む自分の「時間」を確保できる「ゆとりと醍醐味」がありました。日々の生活の時間に追われることなく「のんびり」するのも成長期の「脳」を活性化し、自然体験や人との出会い、運命的な出会いの読書から喜怒哀楽の「感じる力」やある種の直感的な「閃（ひらめ）く力」を養う大切な期間だったのではないのでしょうか。そういう力こそが、いまの社会で「生きる力」として求められているのだとつくづく思います。

地球規模での猛暑からくる「熱中症」のリスクは登下校時が多く指摘され、やはり、夏の過ごし方も考えなくてはならない時代。短いが故の「夏休み」の過ごし方も「新しい経験」ととらえれば、様々な工夫のもと、ぜひ有効に活用して思い出に残る夏にしてもらいたいと願っています。

宝塚市PTA協議会も「学力の遅れ」より「体力の低下」を危惧されているアンケート結果をみると、外で遊ばない遊べないことの心配が増加しているのではないのでしょうか。自粛期間に動けなかった分をどこかで取り戻そうとしてもなかなか思うようには行かない感染拡大の現状。本校の部活動でも中体連代替の【3年生交流大会】はなんとか実施できたものの、十分な練習時間や試合経験をすることなく迎えた3年生にとっては、区切りとはいえ、心残りの部分も決して否めません。残された後輩たちも、これから先の活動はどんどん不透明になってきています。引退した先輩たち

から新しく受け継ぐ後輩たちもこの先思うような活動ができるかどうか心配しております。子ども達の感染はほとんどが家庭内での濃厚接触と言われております。短い「夏休み」になりますが、どうかご家庭でも事故等に遭わない安全への配慮と、さらなる感染症予防にご留意願います。



日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	土	夏季休業～8/17	16	日	節電休業(学校閉鎖) ★
2	日		17	月	↓ 夏季休業:最終日
3	月	個人懇談会	18	火	授業開始 午前中授業 給食開始
4	火		19	水	↓
5	水	↓ 校内植木剪定作業	20	木	
6	木		21	金	
7	金		22	土	
8	土		23	日	
9	日		24	月	
10	月	山の日	25	火	
11	火		26	水	
12	水	節電休業(学校閉鎖) NO部活★	27	木	
13	木		28	金	
14	金		29	土	
15	土		30	日	
◎9月中の主な行事			31	月	
・生徒会各部委員会(1火)			・1学期終業式(10/2金)		
・期末考査(17木、18金)※両日:給食あり			・2学期始業式(10/5月)		
・中体連新人戦(12、13、26、27)予定			・2学期中間考査(10/15木、16金)		

### ◆「個人懇談会」について

8月3日(月)～5日(水)の期間、「個人懇談会」を実施いたします。暑いさなかで心苦しいのですがどうぞよろしくお願いいたします。



### ◆「修学旅行」の中止について

3年生には昨日お伝えしましたが、延期しておりました沖縄への「修学旅行」について、生徒の安全を第一に考え、やむを得ず中止することといたしました。(宝塚市教育委員会より)

非常に辛いお知らせになりました。私が教諭時代から30年余り取り組んできた「体験」を重視した「修学旅行」の在り方が全国的に広がり、「学びの集大成」と呼ばれるようになった学校行事の中で、この新型コロナウイルス感染症の影響にはどうしても抗えませんでした。

1年生から取り組んできた現3年生にとって、今後の学校生活が少しでも豊かなものになるよう教職員一同さらなる工夫をして生徒たちとともに歩んでいきたいと考えています。